

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	トルコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてトルコリラ建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	トルコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	トルコリラ建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Navio トルコ債券ファンド



第42期（決算日：2015年10月19日）
 第43期（決算日：2015年11月18日）
 第44期（決算日：2015年12月18日）
 第45期（決算日：2016年1月18日）
 第46期（決算日：2016年2月18日）
 第47期（決算日：2016年3月18日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「Navio トルコ債券ファンド」は、去る3月18日に第47期の決算を行いましたので、法令に基づいて第42期～第47期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

Navio トルコ債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

マザーファンドのご報告

◇トルコ債券マザーファンド	13
---------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) J P モルガン G B I - E M トルコ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額	
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率				期 騰 落
	円	円	円	円	%	%	%	百万円	
18期(2013年10月18日)	11,227		50		3.7	257.73	3.6	95.3	354
19期(2013年11月18日)	11,048		50	△ 1.1	254.90	△ 1.1	96.5	—	349
20期(2013年12月18日)	11,091		50		0.8	256.83	0.8	92.8	374
21期(2014年1月20日)	10,066		50	△ 8.8	236.63	△ 7.9	94.2	—	335
22期(2014年2月18日)	10,049		50		0.3	235.64	△ 0.4	97.5	340
23期(2014年3月18日)	9,648		50	△ 3.5	228.17	△ 3.2	96.4	—	328
24期(2014年4月18日)	10,520		50		9.6	250.45	9.8	95.4	354
25期(2014年5月19日)	10,816		50		3.3	258.15	3.1	96.1	354
26期(2014年6月18日)	10,771		50		0.0	259.13	0.4	95.2	354
27期(2014年7月18日)	10,848		50		1.2	265.30	2.4	94.3	359
28期(2014年8月18日)	10,570		50	△ 2.1	256.05	△ 3.5	96.2	—	352
29期(2014年9月18日)	11,008		50		4.6	268.74	5.0	96.0	367
30期(2014年10月20日)	10,809		50	△ 1.4	266.24	△ 0.9	95.9	—	360
31期(2014年11月18日)	12,121		50		12.6	301.03	13.1	96.6	399
32期(2014年12月18日)	11,657		50	△ 3.4	289.59	△ 3.8	93.1	—	386
33期(2015年1月19日)	12,157		50		4.7	306.20	5.7	95.9	402
34期(2015年2月18日)	11,549		50	△ 4.6	290.48	△ 5.1	97.2	—	383
35期(2015年3月18日)	10,707		50	△ 6.9	272.42	△ 6.2	96.6	—	359
36期(2015年4月20日)	10,022		50	△ 5.9	254.94	△ 6.4	97.5	—	334
37期(2015年5月18日)	10,494		50		5.2	270.08	5.9	96.1	355
38期(2015年6月18日)	10,005		50	△ 4.2	259.34	△ 4.0	95.4	—	340
39期(2015年7月21日)	10,323		50		3.7	269.89	4.1	94.6	354
40期(2015年8月18日)	9,483		50	△ 7.7	251.05	△ 7.0	95.1	—	323
41期(2015年9月18日)	8,446		50	△ 10.4	225.37	△ 10.2	94.4	—	288
42期(2015年10月19日)	8,962		50		6.7	238.36	5.8	96.8	307
43期(2015年11月18日)	9,426		50		5.7	253.06	6.2	97.3	322
44期(2015年12月18日)	8,929		50	△ 4.7	242.09	△ 4.3	95.5	—	306
45期(2016年1月18日)	8,135		50	△ 8.3	221.58	△ 8.5	94.8	—	280
46期(2016年2月18日)	8,233		50		1.8	227.73	2.8	96.8	284
47期(2016年3月18日)	8,629		50		5.4	239.03	5.0	96.7	298

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース) は、J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) のサブインデックスです。

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマーシング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマーシング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		(参考指数) J P モ ル ガ ン G B I - E M トルコ (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第42期	(期首) 2015年9月18日	円 8,446	% —	225.37	% —	94.4	% —
	9月末	8,321	△1.5	220.10	△2.3	94.0	—
	(期末) 2015年10月19日	9,012	6.7	238.36	5.8	96.8	—
第43期	(期首) 2015年10月19日	8,962	—	238.36	—	96.8	—
	10月末	9,049	1.0	242.12	1.6	96.6	—
	(期末) 2015年11月18日	9,476	5.7	253.06	6.2	97.3	—
第44期	(期首) 2015年11月18日	9,426	—	253.06	—	97.3	—
	11月末	9,109	△3.4	245.54	△3.0	96.8	—
	(期末) 2015年12月18日	8,979	△4.7	242.09	△4.3	95.5	—
第45期	(期首) 2015年12月18日	8,929	—	242.09	—	95.5	—
	12月末	8,881	△0.5	240.25	△0.8	95.1	—
	(期末) 2016年1月18日	8,185	△8.3	221.58	△8.5	94.8	—
第46期	(期首) 2016年1月18日	8,135	—	221.58	—	94.8	—
	1月末	8,703	7.0	232.80	5.1	96.6	—
	(期末) 2016年2月18日	8,283	1.8	227.73	2.8	96.8	—
第47期	(期首) 2016年2月18日	8,233	—	227.73	—	96.8	—
	2月末	8,199	△0.4	227.67	△0.0	96.6	—
	(期末) 2016年3月18日	8,679	5.4	239.03	5.0	96.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

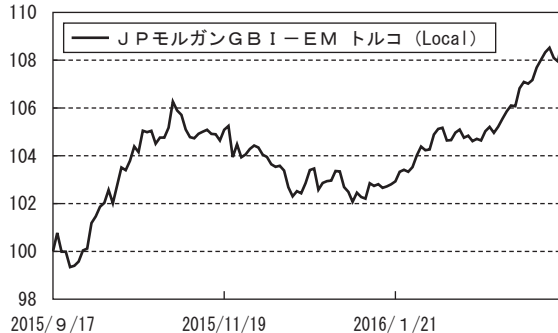
上昇要因

債券の利子収入やトルコの金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

トルコリラが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)

(注) 現地日付ベースで記載しております。

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

◎債券市況

・当作成期首から2015年10月末にかけては、米国雇用統計が市場予想を下回ったことを背景に米国利上げ観測が後退して株式市場が反発上昇したことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、トルコなどの新興国の債券は全般的に買われ金利は低下しました。その後、2016年1月にかけては、トルコ国軍がシリアの国境近くでロシア軍戦闘機を撃墜した事件の発生を受けて地政学的リスクの高まりが警戒されたことや、原油価格が一段と下落し株式市場が軟調に推移するなか投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを理由にトルコ金利は上昇しました。しかし、作成期末にかけては、国債入札で投資家の旺盛な需要が確認されたことや、内戦が続くシリアをめぐる米国とロシアの間で一時停戦を呼びかける合意がなされたことを受けて地政学リスクが後退したことなどからトルコの金利は再び低下し、作成期を通じてみると、トルコの金利は低下しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)

◎為替市況

・当作成期首から2015年11月中旬にかけては、株式市場の反発上昇を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどを受けて、トルコリラは円に対して買われる展開となりました。その後は、前述の地政学的リスクに対する警戒感の高まりなどを受けてトルコリラは下落に転じ、作成期を通じてみると、トルコリラは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<N a v i o トルコ債券ファンド>

- ・当ファンドはトルコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてトルコリラ建ての債券に実質的な投資をしました。

<トルコ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ6.5%の上昇となりました。

- ・トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性を勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は参考指数比中立を維持しました。
- ・トルコリラが対円で下落したことが基準価額にマイナスに影響した一方、債券の利子収入やトルコの金利が低下したことなどから基準価額は上昇しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション

作成期首（2015年9月18日）

最終利回り	10.4%
直接利回り	9.2%
デュレーション	3.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

作成期末（2016年3月18日）

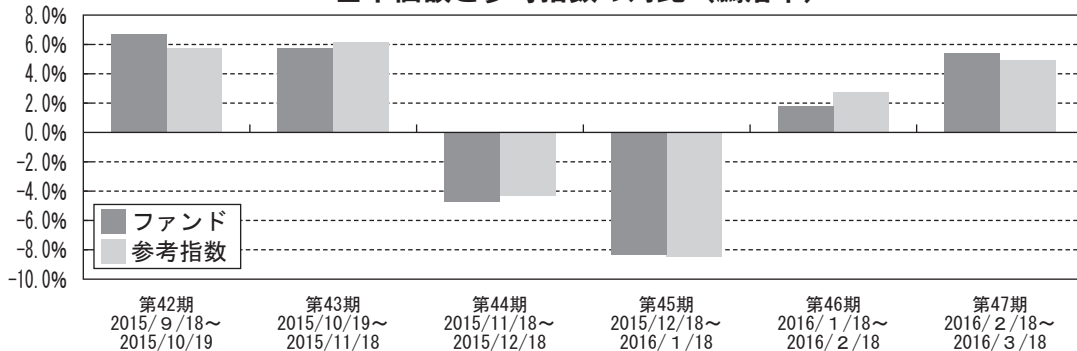
最終利回り	9.8%
直接利回り	9.2%
デュレーション	3.8年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJPモルガンGBI-EMトルコ（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.555%	0.528%	0.557%	0.611%	0.604%	0.576%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,339	4,358	4,366	4,372	4,385	4,396

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<N a v i o トルコ債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・トルコ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<トルコ債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・トルコの最大の輸出先である欧州における景気低迷継続のほか、中国の経済成長が鈍化する中、世界景気の先行きに対する懸念は継続するものとみています。
- ・トルコにおいては、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景に個人消費は堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、相対的に底堅い経済成長を維持するものと考えます。
- ・また、トルコは、欧州、中東、アジアなどの中間地点に位置するなど、貿易中継地としての立地に恵まれているほか、人口構成が若く、内需のさらなる拡大にも期待が持てることなどから、今後の成長期待を背景とした海外からの投資拡大がトルコリラの下支えになると予想します。
- ・ただし、インフレや経常赤字拡大といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、中東情勢をはじめとした地政学リスクの高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

- ・トルコの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年9月19日～2016年3月18日)

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(29)	(0.338)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.338)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	11	0.126	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.124)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	72	0.824	
作成期中の平均基準価額は、8,710円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2015年9月19日～2016年3月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第42期～第47期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トルコ債券マザーファンド	千口 3,271	千円 3,559	千口 11,581	千円 12,941

○利害関係人との取引状況等

(2015年9月19日～2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

<N a v i o トルコ債券ファンド>

該当事項はございません。

<トルコ債券マザーファンド>

区 分	第42期～第47期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 8	百万円 3	% 37.5

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第41期末	第47期末	
	口 数	口 数	評 価 額
トルコ債券マザーファンド	千口 271,932	千口 263,622	千円 297,682

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	第47期末	
	評 価 額	比 率
トルコ債券マザーファンド	千円 297,682	% 99.1
コール・ローン等、その他	2,825	0.9
投資信託財産総額	300,507	100.0

(注) トルコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(296,988千円)の投資信託財産総額(299,452千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1トルコリラ=39.07円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2015年10月19日現在	2015年11月18日現在	2015年12月18日現在	2016年1月18日現在	2016年2月18日現在	2016年3月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	309,687,916	324,831,935	308,619,863	282,686,682	286,617,542	300,507,697
コール・ローン等	1,103,728	1,119,881	1,276,819	1,084,395	1,040,904	1,048,284
トルコ債券マザーファンド(評価額)	306,906,707	321,959,082	305,803,043	279,927,933	283,841,642	297,682,344
未収入金	1,677,480	1,752,971	1,540,000	1,674,353	1,734,996	1,777,069
未収利息	1	1	1	1	—	—
(B) 負債	2,067,921	2,083,929	2,079,904	2,079,513	2,076,479	2,106,785
未払収益分配金	1,716,203	1,712,055	1,716,539	1,724,690	1,728,140	1,729,130
未払解約金	—	4,998	—	—	—	53,129
未払信託報酬	350,593	365,703	362,206	353,688	347,227	323,489
その他未払費用	1,125	1,173	1,159	1,135	1,112	1,037
(C) 純資産総額(A-B)	307,619,995	322,748,006	306,539,959	280,607,169	284,541,063	298,400,912
元本	343,240,765	342,411,142	343,307,842	344,938,015	345,628,016	345,826,001
次期繰越損益金	△ 35,620,770	△ 19,663,136	△ 36,767,883	△ 64,330,846	△ 61,086,953	△ 47,425,089
(D) 受益権総口数	343,240,765口	342,411,142口	343,307,842口	344,938,015口	345,628,016口	345,826,001口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,962円	9,426円	8,929円	8,135円	8,233円	8,629円

○損益の状況

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	38	35	41	35	32	1
受取利息	38	35	41	35	32	1
(B) 有価証券売買損益	19,771,884	17,933,225	△ 14,929,852	△ 25,237,383	5,436,266	15,745,368
売買益	19,823,654	17,974,687	13,356	1,544	5,456,360	15,774,347
売買損	△ 51,770	△ 41,462	△ 14,943,208	△ 25,238,927	△ 20,094	△ 28,979
(C) 信託報酬等	△ 351,718	△ 366,876	△ 363,365	△ 354,823	△ 348,339	△ 324,526
(D) 当期損益金 (A + B + C)	19,420,204	17,566,384	△ 15,293,176	△ 25,592,171	5,087,959	15,420,843
(E) 前期繰越損益金	△ 61,290,518	△ 43,387,438	△ 27,490,707	△ 44,485,440	△ 71,700,027	△ 68,266,315
(F) 追加信託差損益金	7,965,747	7,869,973	7,732,539	7,471,455	7,253,255	7,149,513
(配当等相当額)	(37,671,595)	(37,823,526)	(38,388,111)	(39,142,802)	(39,609,962)	(39,821,111)
(売買損益相当額)	(△ 29,705,848)	(△ 29,953,553)	(△ 30,655,572)	(△ 31,671,347)	(△ 32,356,707)	(△ 32,671,598)
(G) 計 (D + E + F)	△ 33,904,567	△ 17,951,081	△ 35,051,344	△ 62,606,156	△ 59,358,813	△ 45,695,959
(H) 収益分配金	△ 1,716,203	△ 1,712,055	△ 1,716,539	△ 1,724,690	△ 1,728,140	△ 1,729,130
次期繰越損益金 (G + H)	△ 35,620,770	△ 19,663,136	△ 36,767,883	△ 64,330,846	△ 61,086,953	△ 47,425,089
追加信託差損益金	7,965,747	7,869,973	7,732,539	7,471,455	7,253,255	7,149,513
(配当等相当額)	(37,675,266)	(37,825,707)	(38,393,401)	(39,149,220)	(39,613,235)	(39,822,789)
(売買損益相当額)	(△ 29,709,519)	(△ 29,955,734)	(△ 30,660,862)	(△ 31,677,765)	(△ 32,359,980)	(△ 32,673,276)
分配準備積立金	111,289,200	111,408,581	111,527,254	111,672,392	111,952,924	112,204,053
繰越損益金	△154,875,717	△138,941,690	△156,027,676	△183,474,693	△180,293,132	△166,778,655

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 342,171,944円
 作成期中追加設定元本額 6,740,977円
 作成期中一部解約元本額 3,086,920円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8629円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は47,425,089円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
費用控除後の配当等収益額	2,289,468円	2,339,738円	2,006,785円	1,907,367円	2,167,733円	2,101,311円
費用控除後・繰越欠損金繰戻後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	37,675,266円	37,825,707円	38,393,401円	39,149,220円	39,613,235円	39,822,789円
分配準備積立金額	110,715,935円	110,780,898円	111,237,008円	111,489,715円	111,513,331円	111,831,872円
当ファンドの分配対象収益額	150,680,669円	150,946,343円	151,637,194円	152,546,302円	153,294,299円	153,755,972円
1万口当たり収益分配対象額	4,389円	4,408円	4,416円	4,422円	4,435円	4,446円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	1,716,203円	1,712,055円	1,716,539円	1,724,690円	1,728,140円	1,729,130円

○分配金のお知らせ

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

トルコ債券マザーファンド

《第4期》決算日2016年3月18日

[計算期間：2015年3月19日～2016年3月18日]

「トルコ債券マザーファンド」は、3月18日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、トルコの国債、政府機関債、政府保証債ならびにトルコリラ建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	トルコリラ建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	206.37	—	—	—	299
1期(2013年3月18日)	13,175	31.8	277.72	34.6	98.4	—	386
2期(2014年3月18日)	10,897	△17.3	228.17	△17.8	96.6	—	327
3期(2015年3月18日)	12,951	18.8	272.42	19.4	96.8	—	358
4期(2016年3月18日)	11,292	△12.8	239.03	△12.3	96.9	—	297

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース) は、J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) のサブインデックスです。

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J P モ ー ル ガ ン G B I - E M トルコ		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
	円	騰 落 率 %	(円ベース)	騰 落 率 %		
(期 首) 2015年 3月18日	12,951	—	272.42	—	96.8	—
3月末	12,930	△ 0.2	271.76	△ 0.2	96.7	—
4月末	12,117	△ 6.4	256.31	△ 5.9	96.8	—
5月末	12,784	△ 1.3	270.26	△ 0.8	95.9	—
6月末	12,440	△ 3.9	264.61	△ 2.9	95.3	—
7月末	12,226	△ 5.6	258.90	△ 5.0	94.7	—
8月末	11,206	△13.5	236.25	△13.3	94.6	—
9月末	10,450	△19.3	220.10	△19.2	94.2	—
10月末	11,444	△11.6	242.12	△11.1	96.9	—
11月末	11,595	△10.5	245.54	△ 9.9	97.1	—
12月末	11,383	△12.1	240.25	△11.8	95.3	—
2016年 1月末	11,234	△13.3	232.80	△14.5	96.8	—
2月末	10,659	△17.7	227.67	△16.4	96.8	—
(期 末) 2016年 3月18日	11,292	△12.8	239.03	△12.3	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

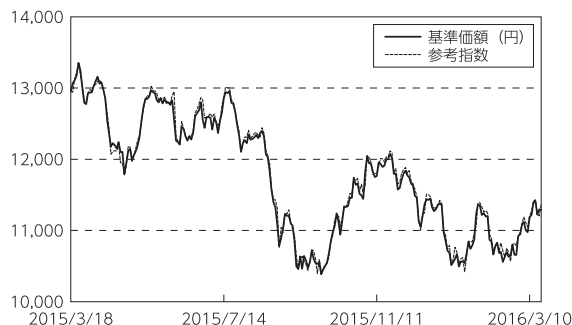
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.8%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

・トルコの金利は上昇（債券価格は下落）しました。中国をはじめとした新興国の景気減速懸念から世界的に株式市場が軟調に推移するなか、投資家のリスク回避姿勢が高まったことから、新興国債券は全般的に売られ金利は上昇しました。また、トルコ国内において断続的にテロ事件が発生していることや、2015年11月にはトルコ国軍がシリアの国境付近でロシア軍戦闘機を撃墜するなどの事件が発生するなど、地政学的リスクの高まりが懸念されたことなども、金利の上昇要因となりました。

◎為替市況

- ・トルコリラは対円で下落（円高）しました。
- ・世界的に株式市場が軟調に推移するなか、投資家のリスク回避傾向が高まったことなどが円高要因となったほか、前述の地政学的リスクに対する警戒感の高まりなどがトルコリラ安要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性を勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は参考指数比中立を維持しました。
- ・債券の利子収入は基準価額にプラス要因となったものの、トルコの金利が上昇したことや、トルコリラが対円で下落したことなどはマイナス要因となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・トルコの最大の輸出先である欧州における景気低迷継続のほか、中国の経済成長が鈍化する中、世界景気の先行きに対する懸念は継続するものとみています。
- ・トルコにおいては、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景に個人消費は堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、相対的に底堅い経済成長を維持するものと考えます。
- ・また、トルコは、欧州、中東、アジアなどの中間地点に位置するなど、貿易中継地としての立地に恵まれているほか、人口構成が若く、内需のさらなる拡大にも期待が持てることなどから、今後の成長期待を背景とした海外からの投資拡大がトルコリラの下支えになると予想します。
- ・ただし、インフレや経常赤字拡大といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、中東情勢をはじめとした地政学リスクの高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

（デュレーション）

- ・トルコの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 32	% 0.270	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(31)	(0.267)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.270	
期中の平均基準価額は、11,705円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年3月19日～2016年3月18日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千トルコリラ	千トルコリラ
外国	トルコ	国債証券	1,151	839

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日～2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 5	百万円 —	% —	百万円 21	百万円 3	% 14.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千トルコリラ	千トルコリラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	7,540	7,382	288,446	96.9	—	59.9	24.2	12.8
合 計	7,540	7,382	288,446	96.9	—	59.9	24.2	12.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
トルコ		%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		
	国債証券	10.4	870	899	35,129	2024/3/20	
		10.5	1,400	1,431	55,920	2020/1/15	
		6.3	300	281	10,981	2018/2/14	
		7.1	520	449	17,555	2023/3/8	
		8.3	430	416	16,255	2018/6/20	
		8.8	1,430	1,350	52,777	2023/9/27	
		9.0	700	692	27,055	2017/3/8	
		9.5	1,890	1,862	72,770	2022/1/12	
合 計					288,446		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	288,446	96.3
コール・ローン等、その他	11,006	3.7
投資信託財産総額	299,452	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(296,988千円)の投資信託財産総額(299,452千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 トルコリラ=39.07円			
----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	299,452,417
コール・ローン等	4,676,396
公社債(評価額)	288,446,968
未収利息	5,613,648
前払費用	715,405
(B) 負債	1,777,069
未払解約金	1,777,069
(C) 純資産総額(A-B)	297,675,348
元本	263,622,338
次期繰越損益金	34,053,010
(D) 受益権総口数	263,622,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,292円

<注記事項>

- ①期首元本額 276,642,029円
 期中追加設定元本額 15,224,277円
 期中一部解約元本額 28,243,968円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1292円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

Navio トルコ債券ファンド 263,622,338円

【お知らせ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)

○損益の状況 (2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,576,337
受取利息	26,576,337
(B) 有価証券売買損益	△71,315,365
売買益	1,016,896
売買損	△72,332,261
(C) 保管費用等	△ 861,695
(D) 当期損益金(A+B+C)	△45,600,723
(E) 前期繰越損益金	81,643,400
(F) 追加信託差損益金	2,860,427
(G) 解約差損益金	△ 4,850,094
(H) 計(D+E+F+G)	34,053,010
次期繰越損益金(H)	34,053,010

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。